

令和5年度 調布市立第七中学校 年間指導計画・評価計画表 【3年生 音楽科】 指導者名：大野ゆき子

観点 1 知識・技能 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度

指導領域	観 点	単元の評価基準	具体的評価基準（おおむね満足 B ）	評価方法・場面	弱点克服の手立て
共 通	3	【表現領域】 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりや、曲の背景との関わりについて理解し、それらを生かした曲にふさわしい表現を創意工夫して活動する。 【鑑賞領域】 ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	【表現領域】 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ・音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞領域】 ・曲想と音楽の構造との関り、音楽の特徴とその背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・実技テスト	【表現領域】 ・基礎練習の強化 ・個人練習 【鑑賞領域】 ・パワーポイントなどでの視覚的なアプローチと共にワークシートを使用しているの具体的な説明
【表現・歌唱】 ・混声四部合唱 「こんにちは」 ・「花」	1 2	・全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫する。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 ・日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫する。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	1[知]・「花」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技]・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に着け、歌唱で表している。 2・「花」のリズム、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「花」にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもっている。	・授業観察 ・ワークシート ・実技テスト ・定期考査	・発声練習の強化 ・音楽理論踏まえた読譜力の強化
【鑑賞】 「ブルタバ」	1 2	・音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わう。	1・[知]音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。 2・音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが	・授業観察 ・ワークシート ・感想文	・感想文と音楽の8要素についての関連の理解

			生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・定期考査	
【表現・歌唱】 混声三(四)部合唱 各学年課題曲、 クラス曲	1 2	・合唱コンクールに向けて取り組みを始める。 ・合唱コンクールに取り組み、クラスの仲間と作る合唱の魅力を理解する。	1・[知]楽の構造との関わりについて理解している。 ・[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。 2・音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	・授業観察 ・ワークシート ・実技テスト ・定期考査	・発声練習の強化 ・音楽理論踏まえた読譜力の強化
【鑑賞】 オペラ 「魔笛」 「カルメン」 「アイーダ」など	1 2	・オペラに親しみ、その魅力を味わう。	1・[知]曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 2・音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・授業観察 ・ワークシート ・感想文 ・定期考査	・感想文と音楽の8要素についての関連の理解
【表現・アンサンブル】 ・ボディパーカッション	1 2	・曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫する。	1・[知] 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・[技]創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、演奏している。 2・リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	・授業観察 ・ワークシート ・実技テスト ・定期考査	・基本的な音符やリズムの復習 ・音楽理論踏まえた読譜力の強化
【鑑賞】 ・音楽史を知ろう ルネサンス～現代音楽	1 2	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	1・[知]音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 2・音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・授業観察 ・ワークシート ・感想文	・感想文と音楽の8要素についての関連の理解

【表現・歌唱】 式歌	1 2	・曲の構成や曲想の変化を生かして，歌唱表現を工夫する。 ・儀式で心に残る合唱を作る。	1 ・[知]曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・[技]創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け，歌唱で表している。 2 ・音色，旋律，テクスチャ，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	・授業観察 ・ワークシート ・実技テスト	・発声練習の強化 ・音楽理論踏まえた読譜力の強化
-----------------------	---------------------------	---	---	--	---